



2014年12月8日  
株式会社ダルトン  
代表取締役社長 矢澤 英人

## 重要なお知らせ

### ドラフトチャンバー等、局所排気フードの設計不備による発煙、焼損 の危険性のお知らせと改修作業に関するお願い

日頃よりダルトン製品をご愛用いただき、誠にありがとうございます。

この度、当社が1989年1月～2010年12月に販売したドラフトチャンバー等の一部機種において、中継コネクタおよび装置内電気配線の一部に設計上の不備があり、過熱による発煙、焼損の危険性があることが判明しました。

つきましては、現在使用されている該当製品全数に対して、配線変更作業を無償にて実施致します。

対象製品をご使用中のお客様には、ご不便とご迷惑をお掛けしますことを、深くお詫び申し上げます。

対象製品：(株)ダルトン製 ドラフトチャンバー等、局所排気フード

1989年1月～2010年12月に販売の製品

詳細は次頁以降の“対象製品一覧”及び“配線改修工事が必要な不具合要因について”をご確認下さい。

対応：無償にて機器内の電気配線変更作業を実施いたします。  
(上記対象製品の改修作業のみを、無償の対象とさせていただきます。)

お願い：現在ご使用中の機器が上記に該当するお客様は、お手数ですが、お電話、メールもしくは下記ウェブサイトからお知らせ下さい。  
機種、購入時期が明確でない場合も、ご一報頂ければ担当者より確認のご連絡を差し上げます。

**お電話、メール、ウェブサイトからのお問合せ先：下記URLにてご確認ください。**

<http://www.dalton.co.jp/inquiry/#telephone>

電話受付時間：9:00～17:00 (12:00～13:00、土・日・祝日除く)

# 配線改修作業が必要な不具合要因について

## 1. 配線改修作業が必要な不具合要因について

この度の配線改修作業が必要な不具合要因は、以下のとおりです。

### 不具合要因 1 : コンセント回路に使用されている中継コネクタの選定ミス

対象製品の本体に付属している 100V (ボルト) 用 15A (アンペア) コンセントへの配線経路に、誤って 12A 用の中継コネクタが選定されていたことが判明いたしました。

納品当時の施工状態や納品後の使用状況によって差はありますが、短時間の使用には耐えうるものの、長期に渡って大容量の機器 (電熱ヒーター、ホットプレート、マッフル炉など) を使用していると、コネクタピンの接触部の金属疲労や圧着部分の接合力低下によって接触抵抗値の上昇を引き起こして高温状態になり、更に接触抵抗値が上昇していくことによって、やがて発煙・焼損に至る事例が発生することが判明しています。

該当する製品の全てについて、配線改修作業を実施させていただきます。

これまでに、**20 年以上継続的に加熱用ヒーターを使用されているお客様において、2 件の事故事例が確認されています。**

### 不具合要因 2 : コンセント回路に使用されている電線の容量不足

対象製品の制御盤部に取付けられている 100V 受電用のブレーカーが 20A トリップ用の場合、ブレーカーからコンセントに接続されている配線が本来は 20A 用であるべきところ、最大容量が 17A の配線が使用されていることが判明いたしました。

実際にはコンセント器具は 15A までしか使えない決まりになっていますが、配線工事上、適切ではないと判断し、自主的に配線改修作業を実施させていただきます。

尚、現時点で、この不具合が要因となる事故事例は確認されていません。

### 不具合要因 3 : コンセント回路に使用されている中継コネクタの容量不足

対象製品の制御盤部に取付けられている 100V 受電用のブレーカーが 15A トリップ用の場合において、ブレーカーからコンセントへの配線経路に使用されている中継コネクタが定格 14A であり、1A 容量が不足している機体があることが判明いたしました。

長期に渡る使用に対する安全性の確保が不十分であると判断し、自主的に配線改修作業を実施させていただきます。

尚、現時点で、この不具合が要因となる事故事例は確認されていません。

## 2. 配線改修作業について

上記の不具合要因に関わらず、配線改修作業については同じ対応を取らせていただきます。

全ての場合において、既設コンセント回路の中継コネクタおよび配線の撤去を行い、再配線作業を実施させていただきます。

作業を実施するために、一部の機種においては、構成部品の一部を取外す必要があります。作業終了後には元の状態に復帰させていただきますので、ご協力をお願い申し上げます。

### 3. 対象となる製品と該当する不具合要因

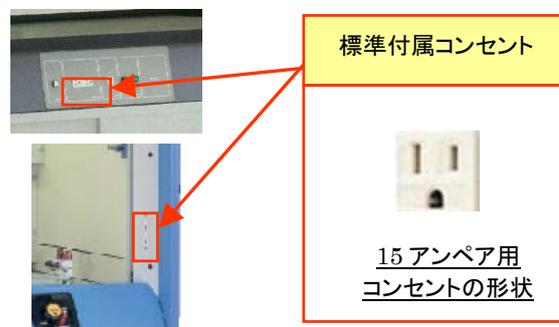
対象となる製品に対して該当する不具合要因は以下のとおりです。

尚、対象製品の詳細につきましては、3ページ以降の「対象製品一覧」をご参照願ください。

番号	対象製品	納品時期	該当する不具合要因
対象 1	ドラフトチャンバー①	1989年1月～ 1995年12月	不具合要因 1 および 2 に該当
対象 2	ドラフトチャンバー②	1995年4月～ 2001年12月	不具合要因 1 および 2 に該当
		2002年1月～ 2007年12月	不具合要因 2 または 3 に該当
対象 3	ドラフトチャンバー③	2007年4月～ 2010年12月	不具合要因 3 に該当
対象 4	卓上フード	1989年1月～ 2001年12月	不具合要因 1 および 2 に該当
対象 5	R I フード		
対象 6	樹脂製ドラフトチャンバー	2002年1月～ 2010年12月	不具合要因 2 または 3 に該当

#### お願い

特に不具合要因 1 に該当する機種種の標準付属コンセントを利用して、長期に渡って大容量の機器（電熱ヒーター、ホットプレート、マッフル炉など）をご使用されているお客様は、直ぐに使用を停止いただき、別の適切なコンセントのご使用をお願いいたします。



# 対象製品一覧

## 対象 1: ドラフトチャンバー①

納品時期	1989年1月～1995年12月			
対象製品	型式の最初に【DS】、【DE】、【DC】、【DN】が付く機種			
製品の例	 DS-□□□ DS-111、112、141 など	 DE-□□□ DE-211、212、292 など	 DC-□□□ DC-112、212、181 など	 DN-□□□ DN-111、211、113 など
見分け方	 <p>グレーを基調とした本体色で、両サイドにこげ茶色の樹脂製モールが取り付けられています</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>こげ茶色の樹脂モール</li> <li>型式の表示シール</li> <li>グレーの塗装色</li> </ul>			

## 対象 2: ドラフトチャンバー②

納品時期	1995年4月～2007年12月			
対象製品	型式の最初に【DF】が付く機種			
製品の例	 DF-11、DF-12、DF-21、DF-22、DF-13、DF-14、DF-15、DF-19 など	 	 	 
見分け方	 <p>ホワイトグレーの本体色で、両サイドと作業面前部がブルー色で塗装されています</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ブルーのサイドモール</li> <li>型式の表示シール</li> <li>ホワイトグレーの塗装色</li> </ul>			

**対象 3: ドラフトチャンバー③**

納品時期	2007年4月～2010年12月
対象製品	型式の最初に【DFV】が付く機種
製品の例	 <p>DFV-11A、DFV-12A、DFV-21A、DFV-22A、DFV-14A、DFV-11S、DFV-12T など</p>
見分け方	<p>ホワイトの本体色で、作業エリア周囲がシルバー色で塗装されています</p> <p>ホワイトの塗装色</p> <p>シルバー色の周囲枠</p> <p>この部分に貼られている銘板を確認してください（扉付きの場合も同じです）</p> <p>一番下に記載されている「製造年月」が2010.12以前の製品のみが対象となります</p> 

**対象 4: 卓上フード**

納品時期	1989年1月～2010年12月
対象製品	型式の最初に【TQ】が付く卓上フードで本体の支柱部分にコンセントが付いている製品のみ
製品例	 <p>TQ-300、TQ-600 など（木製、アルミニウム製、ステンレス製）</p>
見分け方	<p>実験台の上に乗せるタイプの卓上フードで本体の柱部分に15アンペアのコンセントが付いている製品のみが対象となります</p> <p>この様な本体の柱部分に15アンペア用のコンセントが付いている製品</p>   <p>15アンペア用コンセントの形状例</p>

**対象 5: R I 用フード**

納品時期	1989年1月～2010年12月
対象製品	型式の最初に【RK】、【RW】が付くR I 用フード
製品例	 <p>RK-□                      RF-□                      RW-□</p> <p>RK-8、RKN-8、RF-8、RW-8、RWN-8 など</p>
見分け方	<p>オークリッジフード、カルフォルニアフード、ウォークインフードと呼ばれるR I (放射性物質)の取扱い専用のフードです 一般的には放射性物質の管理区域内に設置されています</p>

**対象 6: 樹脂製ドラフトチャンバー**

納品時期	1989年1月～2010年12月
対象製品	型式の最初に【EC】、【PC】が付く樹脂製ドラフトチャンバー
製品例	 <p>EC-2                      EC-3                      ECD</p> <p>EC-2、PC-2、EC-3、PC-3、ECD など</p>
見分け方	<p>内外装が全てPVC(硬質塩ビ)またはPP(ポリプロピレン)で出来ている樹脂製のドラフトチャンバーおよびクリーンドラフトチャンバーです</p>

以上